



CHIKARA no MOTO

2025年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

株式会社 かの源ホールディングス【3561】
2024年8月13日



FUTOTSUKEMEN



KARATSUKEMEN

- 1. 2025年3月期 Q1業績報告** P.2～P.20
- 2. 2025年3月期 業績予想** P.21～P.27
- 3. 2028年3月期へのVision** P.28～P.29
- 4. 付属資料** P.30～P.36

1

2025年3月期 Q1業績報告

2025年3月期 Q1業績ハイライト

	実績	計画比		前期比		コロナ前比	
							単位：百万円
売上高	8,171	△	1.0%	+	15.9%	+	13.1%
営業利益	575	△	66	+	3	+	474
		△	10.4%	+	0.5%	+	470.6%
当期純利益	447	△	46	△	22	+	326
		△	9.4%	△	4.8%	+	270.4%
	実績		計画		前期		コロナ前
営業利益率	7.0%		7.8%		8.1%		1.4%
当期純利益率	5.5%		6.0%		6.7%		1.7%

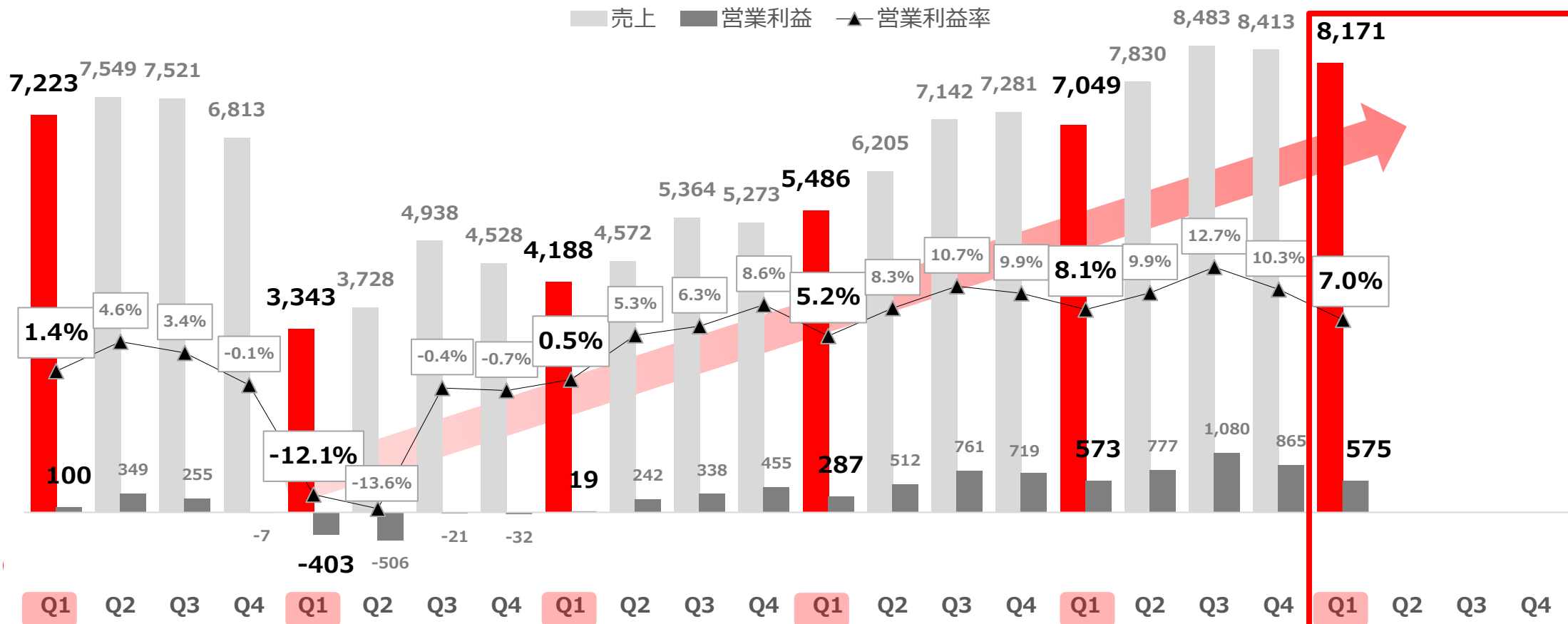
売上高は、前年比15.9%増、コロナ前比13.1%増とQ1で**過去最高**を達成、営業利益は、前年比0.5%増
 海外は人件費等の高騰に対する価格転嫁や新店の遅延・人流の変化・景気の冷え込み等で減益

商品販売はWEBサイトの先行投資などが影響し、連結で計画未達

しかしながら国内店舗運営事業の成長により、連結で営業利益は、コロナ前比470.6%増とQ1で**過去最高**を達成

連結四半期別売上高・営業利益推移

単位：百万円



	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期Q1
売上	29,106	16,539	19,398	26,116	31,776	8,171
営業利益	697	△ 963	1,056	2,281	3,296	575
営業利益率	2.4%	△ 5.8%	5.4%	8.7%	10.4%	7.0%

単位：百万円

	実績		前期比		コロナ前比
売上高	3,655	+	17.7%	△	9.5%
営業利益	333	+	113	+	228
		+	51.7%	+	218.8%
	実績		前期		コロナ前
営業利益率	9.1%		7.1%		2.6%

売上

売上高は、前年比17.7%増。コロナ前比較では不採算店舗の閉店やPANDA EXPRESSの譲渡により、合計9店舗減少していることにより未達

客数

インバウンドの回復など既存店が堅調に推移していること、メディアへの露出増加により客数増

客単価

前年7月の価格改定、10月の看板商品のリニューアル、インバウンド比率の増加により客単価増

店舗数

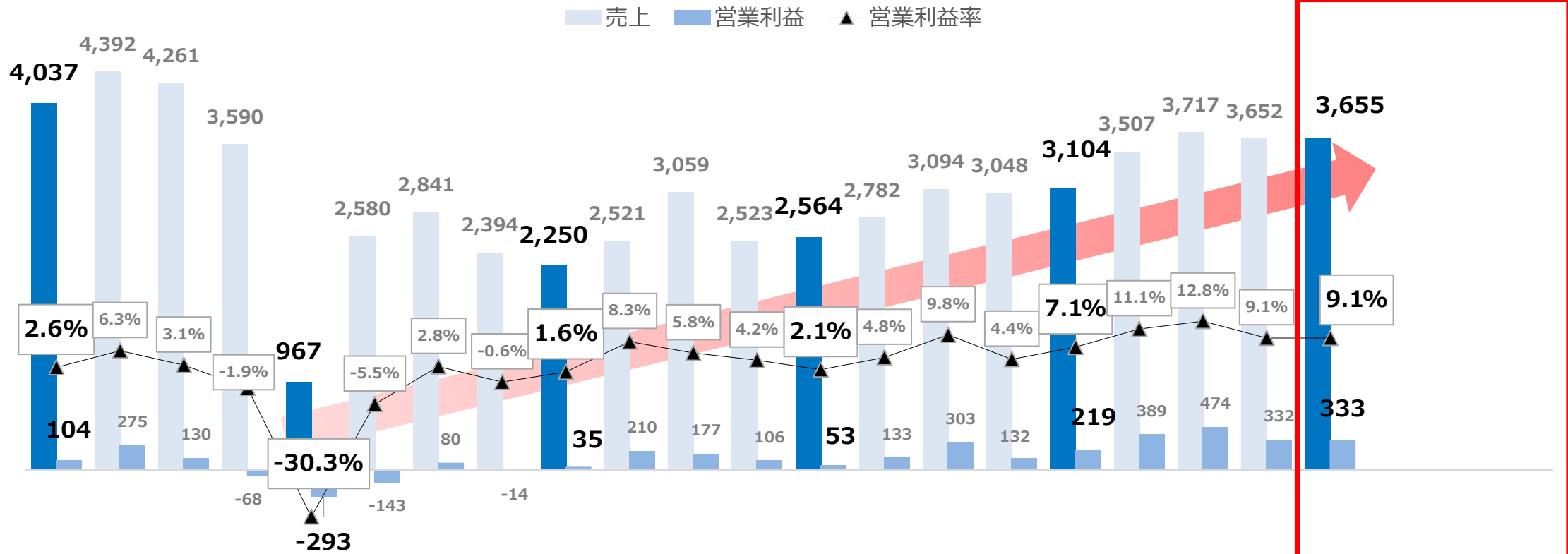
4店舗出店、3店舗閉店（純増1店舗）

営業利益

タブレット・モバイルオーダーの導入等、DXを推進。基本給UP・決算賞与等で人件費を積極的に上げているものの、社員の離職率低下・スキルアップにつながり、営業利益は前期比51.7%増とQ1で**過去最高**を達成

国内店舗運営事業 四半期別売上高・営業利益推移

単位：百万円



Q1 Q2 Q3 Q4 Q1 Q2 Q3 Q4 Q1 Q2 Q3 Q4 Q1 Q2 Q3 Q4 Q1 Q2 Q3 Q4 Q1 Q2 Q3 Q4

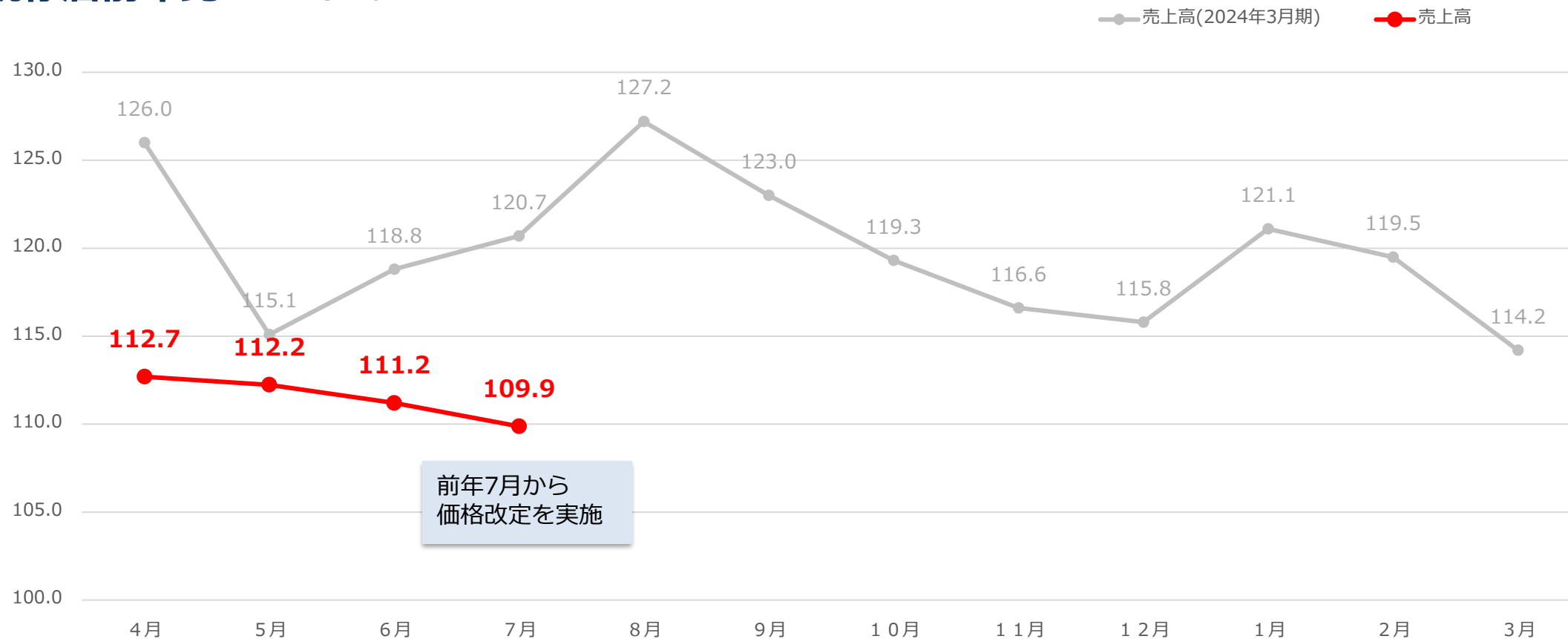
2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期 2025年3月期 Q1

売上	16,282	8,783	10,353	11,489	13,982	3,655
営業利益	441	△ 370	530	623	1,416	333
営業利益率	2.7%	△ 4.2%	5.1%	5.4%	10.1%	9.1%

国内既存店の売上高/客数/客単価の推移 (2024年4月~6月)

国内既存店前年比112.0%

単位：%



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計 6月まで
売上高	112.7	112.2	111.2	109.9									112.0
客数	101.7	101.2	101.1	103.0									101.3
客単価	110.7	110.9	110.0	106.7									110.6

単位：百万円

	実績		前期比		コロナ前比
売上高	3,660	+	12.9%	+	51.1%
営業利益	258	△	122	+	103
		△	30.3%	+	67.1%
	実績		前期		コロナ前
営業利益率	7.1%		11.4%		6.4%

売上

売上高は、前年比12.9%増となり**過去最高**を達成

為替

前期に続き為替相場が円安に推移し、売上高を後押し（為替による前年比影響：11.2%）

店舗数

1店舗出店、2店舗閉店（純減1店舗）

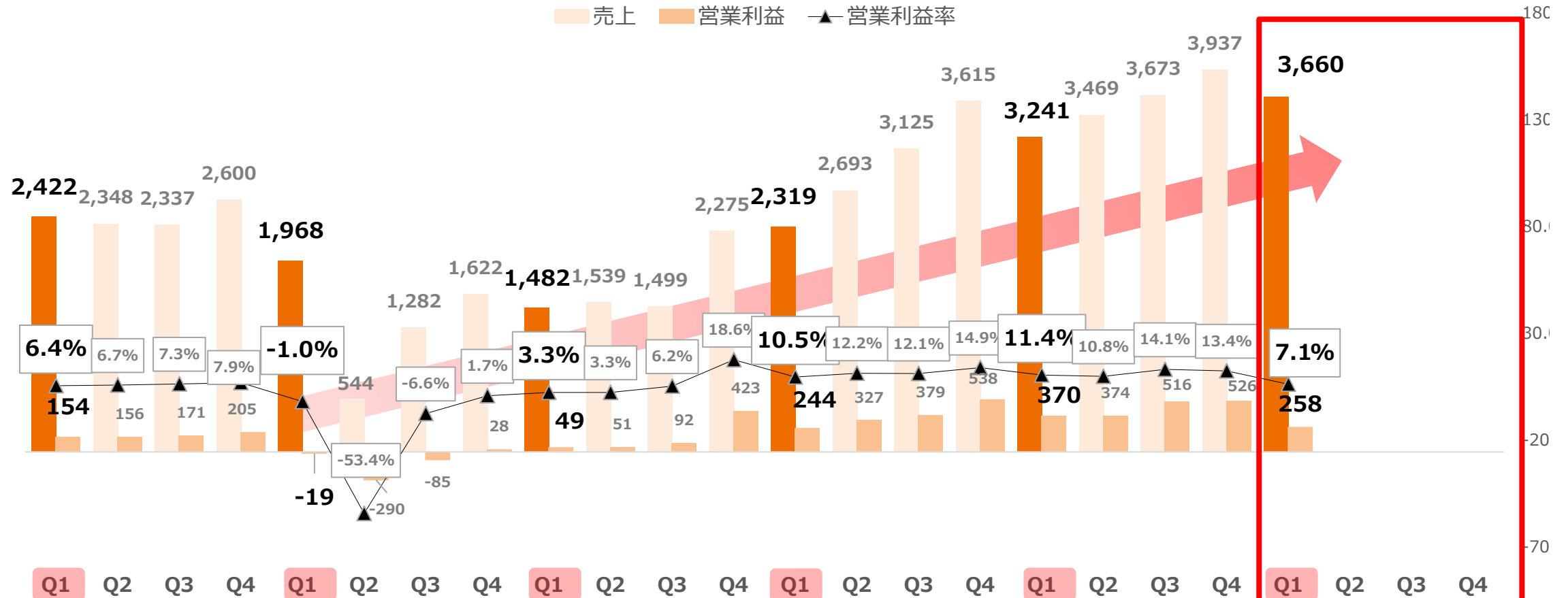
工期遅延によるスケジュール変更、景気減速の懸念や地政学的な不安定要素などを考慮し慎重に判断

営業利益

原材料や人件費、家賃などの様々なインフレ要因を受けたコスト増加に対し、価格転嫁等が遅延したが、後半で盛り返しを図る。国内同様にモバイルオーダーの導入等、店舗運営の効率化を推進

海外運営事業 四半期別売上高・営業利益推移

単位：百万円



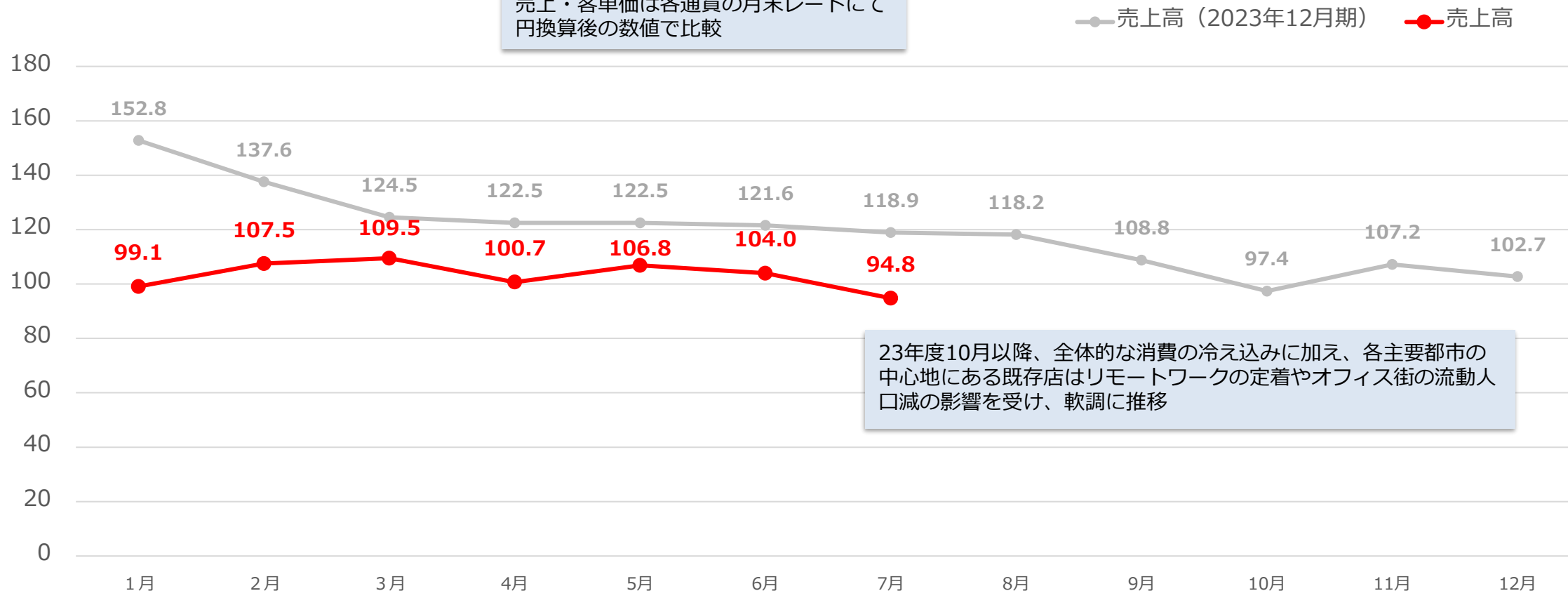
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期Q1
売上	9,708	5,418	6,796	11,753	14,322	3,660
営業利益	687	△ 367	617	1,489	1,788	258
営業利益率	7.1%	△ 6.8%	9.1%	12.7%	12.5%	7.1%

海外既存店の売上高/客数/客単価の推移 (2024年1月~3月)

海外既存店前年比105.2%

ライセンス形態除く直営店舗のみ集計
売上・客単価は各通貨の月末レートにて
円換算後の数値で比較

単位：%

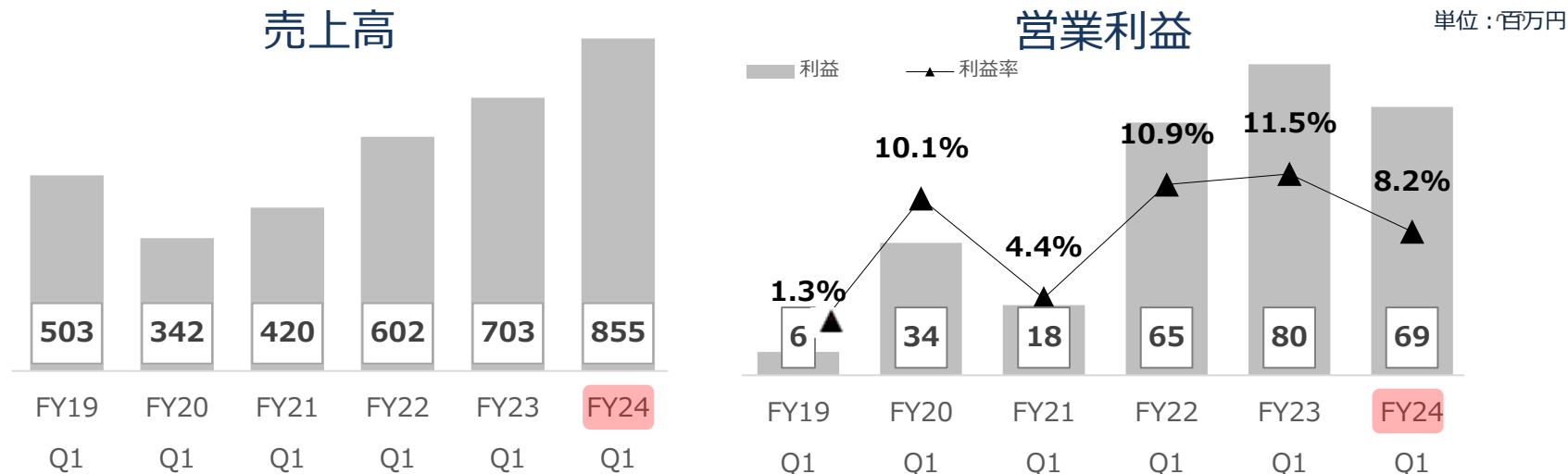


23年度10月以降、全体的な消費の冷え込みに加え、各主要都市の中心地にある既存店はリモートワークの定着やオフィス街の流動人口減の影響を受け、軟調に推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計 3月まで
売上高	99.1	107.5	109.5	100.7	106.8	104.0	94.8						105.2
客数	83.6	96.7	97.3	86.5	93.0	94.6	88.7						92.0
客単価	118.5	112.2	112.5	116.3	114.9	109.9	106.8						114.3

商品販売

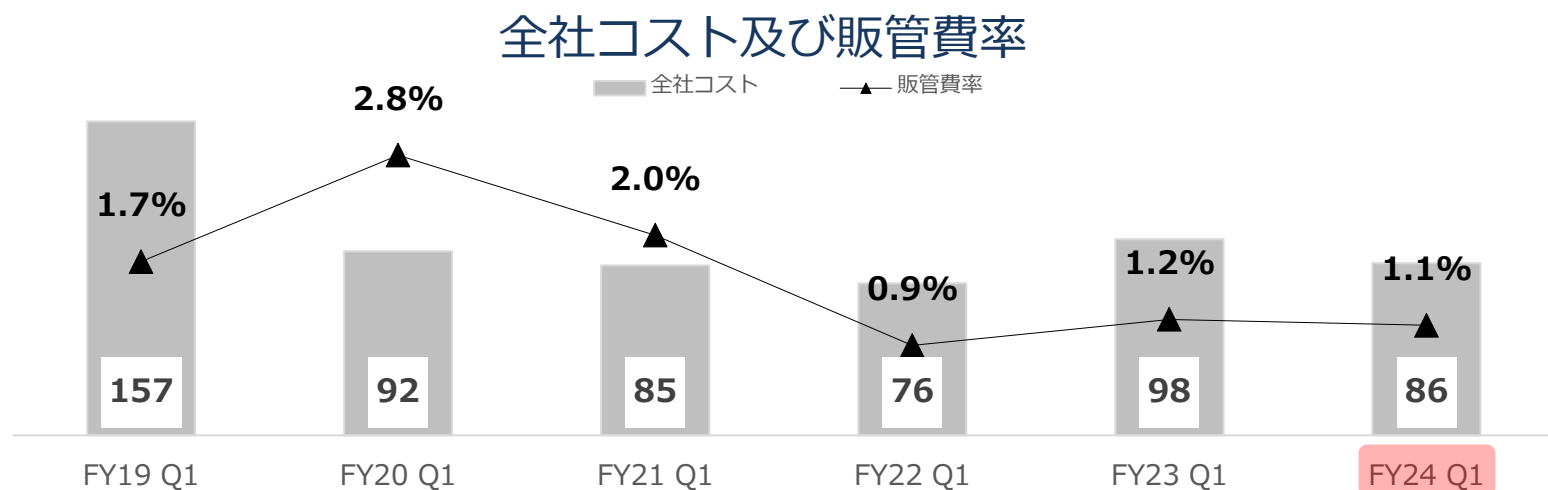
ECサイトや一風堂関連商品が
堅調に推移
売上高は前期比21.6%増
ECサイトの先行投資などにより
一時的に営業利益減



全社コスト

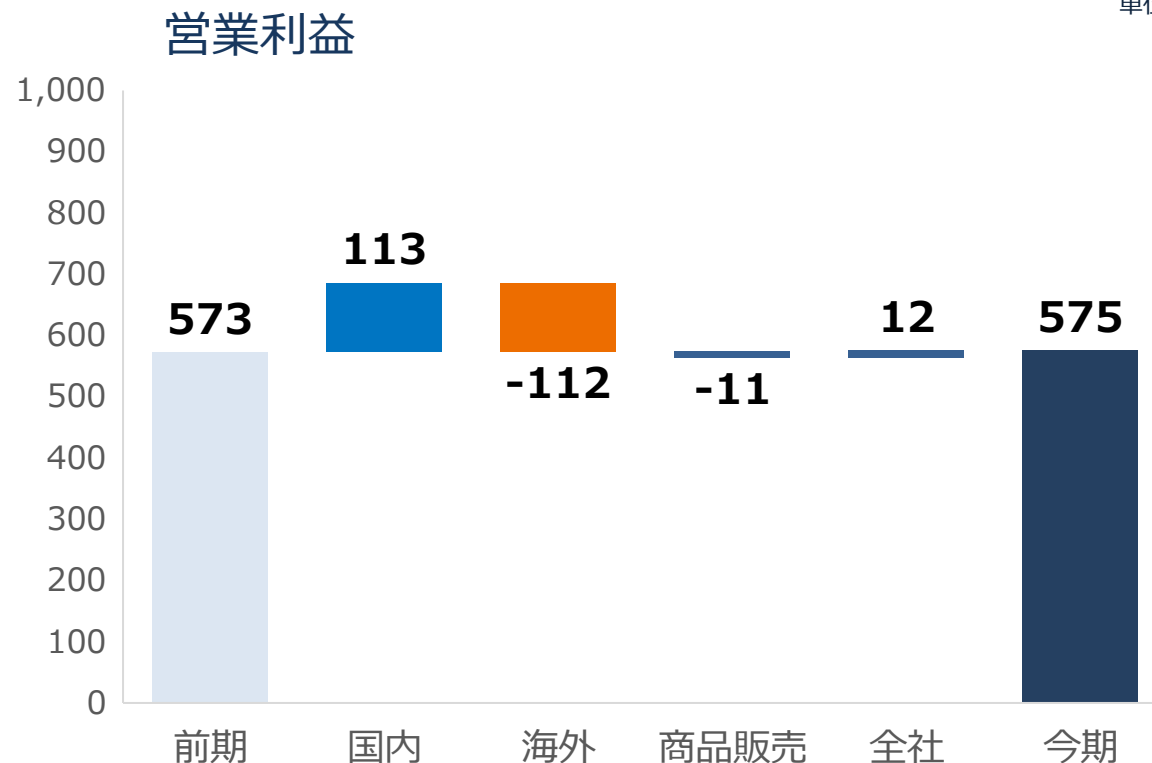
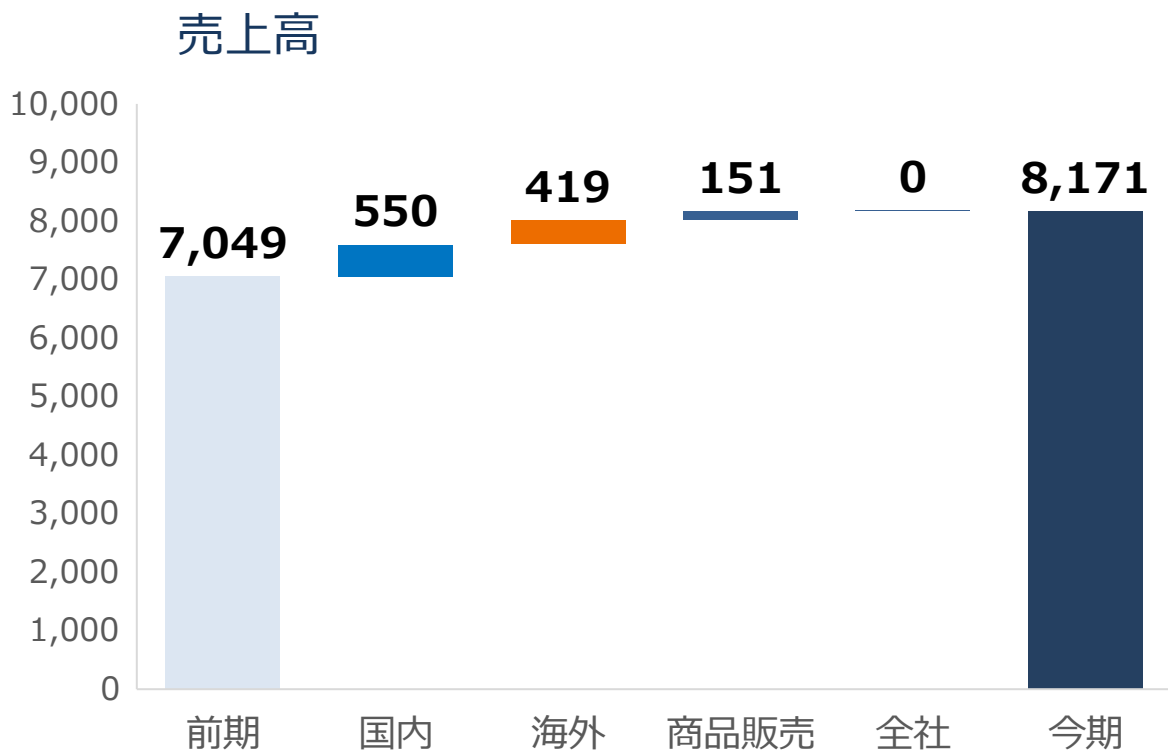
連結売上高に対する販管費率
1.1%
引き続き採用、教育、海外研修等、
人的資本への投資を行い、次の
成長ステージの土台作り努める

※販管費率 = 全社コスト ÷ 連結売上高



セグメント別売上高及び営業利益、営業利益率（前期比較）

単位：百万円



		国内	海外	商品販売	合計
セグメント別 営業利益率	今期	9.1%	7.1%	8.2%	7.0%
	前期	7.1%	11.4%	11.5%	8.1%

**国内の利益は増加したが、海外のコスト増加と商品販売の一時的なコスト発生により
営業利益額は同水準、営業利益率は下回る**

配当金の支払いにより現金及び預金が減少したものの、成長により自己資本比率が54.5%に上昇

	2024年 3月末	2024年 6月末	GAP
流動資産	8,572	8,464	△ 108
うち現金及び預金	5,917	5,895	△ 22
固定資産			
有形固定資産	5,585	5,655	70
無形固定資産	141	136	△ 5
投資その他の資産	2,930	2,921	△ 9
資産合計	17,229	17,178	△ 51

	2024年 3月末	2024年 6月末	GAP
負債合計	7,959	7,822	△ 137
うち短期借入金	140	140	0
うち長期借入金	2,572	2,683	111
株主資本	8,647	8,716	69
その他の包括利益累計額	622	639	17
純資産	9,269	9,355	86
負債純資産合計	17,229	17,178	△ 51

■資産

現金及び預金の減少	△ 22 百万円
出店等による有形固定資産の取得	+70 百万円
繰延税金資産	△ 68 百万円

■負債

有利子負債の増加	+111 百万円
----------	----------

■純資産

資本金及び資本剰余金の増加	+14 百万円
利益剰余金の増加	+447 百万円
配当金の支払いによる利益剰余金の減少	△393 百万円

※自己資本比率54.5%（2024年3月末53.8%）

	実績	計画	前期実績	コロナ前実績
売上高	8,171	8,254	7,049	7,223
前年対比成長率	+15.9%	-	-	-
売上総利益	5,751	-	4,983	5,145
販売費及び一般管理費	5,176	-	4,411	5,044
営業利益	575	642	572	100
営業利益率	7.0%	7.8%	8.1%	1.4%
経常利益	684	681	682	70
経常利益率	8.4%	8.3%	9.7%	1.0%
税金等調整前当期純利益	675	-	650	144
親会社株主に帰属する当期純利益	447	493	469	120
当期純利益率	5.5%	6.0%	6.7%	1.7%

新店舗オープン (4月~6月)



一風堂
ハラカド店



一風堂
モレラ岐阜店



一風堂
ソコラ所沢店



一風堂
淀屋橋店



IPPUDO THAILAND
Fashion Island &
Promenade 店



IPPUDO 台湾
左營高鐵店



IPPUDO 台湾
台北ドーム店

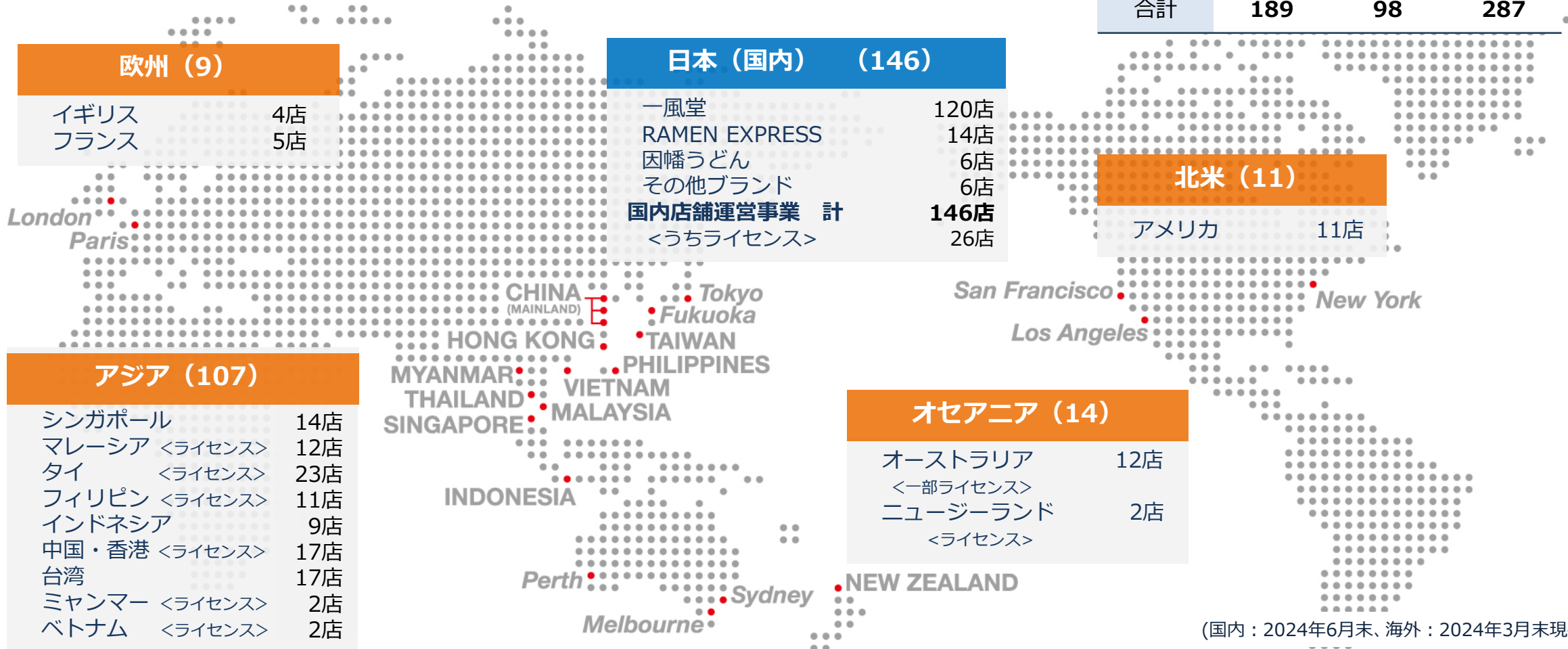


IPPUDO 台湾
復興SOGO店

Global 15ヶ国・地域 Total 287店舗

(前期末からの増減±0店舗)

	直営	ライセンス	合計
国内	120	26	146
海外	69	72	141
合計	189	98	287



欧州 (9)

- イギリス 4店
- フランス 5店

日本 (国内) (146)

- 一風堂 120店
- RAMEN EXPRESS 14店
- 因幡うどん 6店
- その他ブランド 6店

国内店舗運営事業 計 146店
 <うちライセンス> 26店

北米 (11)

- アメリカ 11店

アジア (107)

- シンガポール 14店
- マレーシア <ライセンス> 12店
- タイ <ライセンス> 23店
- フィリピン <ライセンス> 11店
- インドネシア 9店
- 中国・香港 <ライセンス> 17店
- 台湾 17店
- ミャンマー <ライセンス> 2店
- ベトナム <ライセンス> 2店

オセアニア (14)

- オーストラリア 12店
 <一部ライセンス>
- ニュージーランド 2店
 <ライセンス>

(国内 : 2024年6月末、海外 : 2024年3月末現在)

イベント

新横浜ラーメン博物館
の30周年記念イベン
ト「あの銘店をもう一
度」に一風堂が3か月
にわたり期間限定で出
店



コラボ商品

2023年反響を呼んだ「人類
みな麺類」とのイベントで販売
したラーメンを、大阪梅田で
販売スタート



シーズナル商品

夏の定番メニュー
「太つけ麺」「辛つけ麺」
を、期間限定で販売



店舗限定商品

ルミネエスト新宿店で、
期間限定のプラント
ベースラーメンを販売



定番商品の他、各国に密着した限定商品を提供
NYで販売のプラントベースラーメン「ニルヴァーナクラシック」はメディアに取り上げられ反響を呼んだ



NY
Nirvana Classic



London
Akamaru



Australia
Tanrei Ramen



台湾
大名系豚骨



Singapore
Tomato Tonkotsu Ramen



Paris
Tori Shoyu



Malaysia
Kuro Ramen



Thailand
Gyokai Tonkotsu



香港
蟹味噌拉麵



Philippines
Yakiniku Ramen

国内/ECサイト

蕎麦・ラーメン・うどんの販売
渡辺製麺では十割蕎麦、一風堂では
低糖質のクリアヌードルを販売開始

■ ECサイト
<https://ec-ippudo.com/shop>



博多うどんを
ご家庭で。

手間かけた素材をご家庭でもお楽しみください。

国内/量販店・コンビニエンスストア

コンビニエンスストア、空港、量販店などで、
幅広い顧客のニーズに合わせた商品を販売



海外/量販店

乾麺タイプの赤丸や
プラントベースラーメンを販売



廃食油の活用

店舗や工場で排出される廃食油を、ENEOS株式会社と提携し、SAF（持続可能な航空燃料）へとリサイクルする仕組みを構築



イベント

5月、持続可能な新しい価値を生み出す取組「SusHi Tech Tokyo 2024」に参加し、植物由来のみで作られたプラントベース赤丸を販売



ワークショップの開催

自分で作ることの楽しさ、食の大切さ、夢を持つことの大切さを伝えるワークショップ（訪問授業）を開催



こども食堂

定期的に一風堂キッチンカーを用いてこども食堂を開催。こどもの食を支え、地域のコミュニケーションの場を提供



以下のリンクからご覧ください

[力の源グループのSDGsへの取り組みに関するお知らせ](#)

2 2025年3月期 計画

地政学リスクや為替や原材料の変動、世界的な根強いインフレに伴う金融引き締めによる景気減速が予見されるため、海外は穏やかな成長を見込む

単位：百万円

	2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	前年比		通貨	想定 レート
			増加額	増加率		
売上高	31,776 >>	35,000	+3,224	+10.1%	USD	140.56
営業利益	3,296 >>	3,566	+270	+8.2%	EUR	152.00
経常利益	3,489 >>	3,678	+189	+5.4%	GBP	174.86
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,186 >>	2,408	+222	+10.2%	SGD	104.66
					AUD	93.34

(参考) 通期連結業績予想進捗率

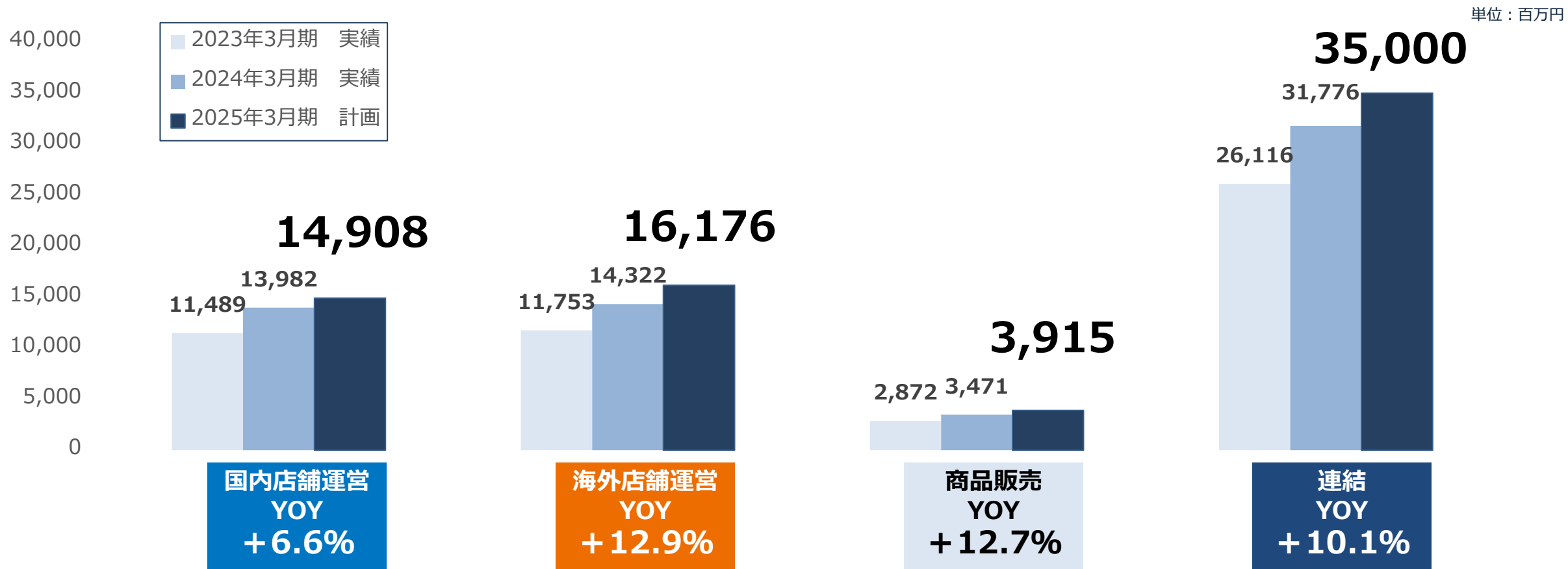
単位：百万円

Q1実績

売上高	8,171	FY17-19実績平均	23.8%		
		前年実績	22.4%		前年実績 31,776
		予想進捗率	23.3%		通期予想 35,000
営業利益	575	FY17-19実績平均	11.7%		
		前年実績	18.5%		前年実績 3,296
		予想進捗率	16.1%		通期予想 3,566
経常利益	684	FY17-19実績平均	11.5%		
		前年実績	21.0%		前年実績 3,489
		予想進捗率	18.6%		通期予想 3,678
親会社株主に帰属する 当期純利益	447	FY17-19実績平均	13.1%		
		前年実績	20.9%		前年実績 2,186
		計画進捗率	18.6%		通期予想 2,408

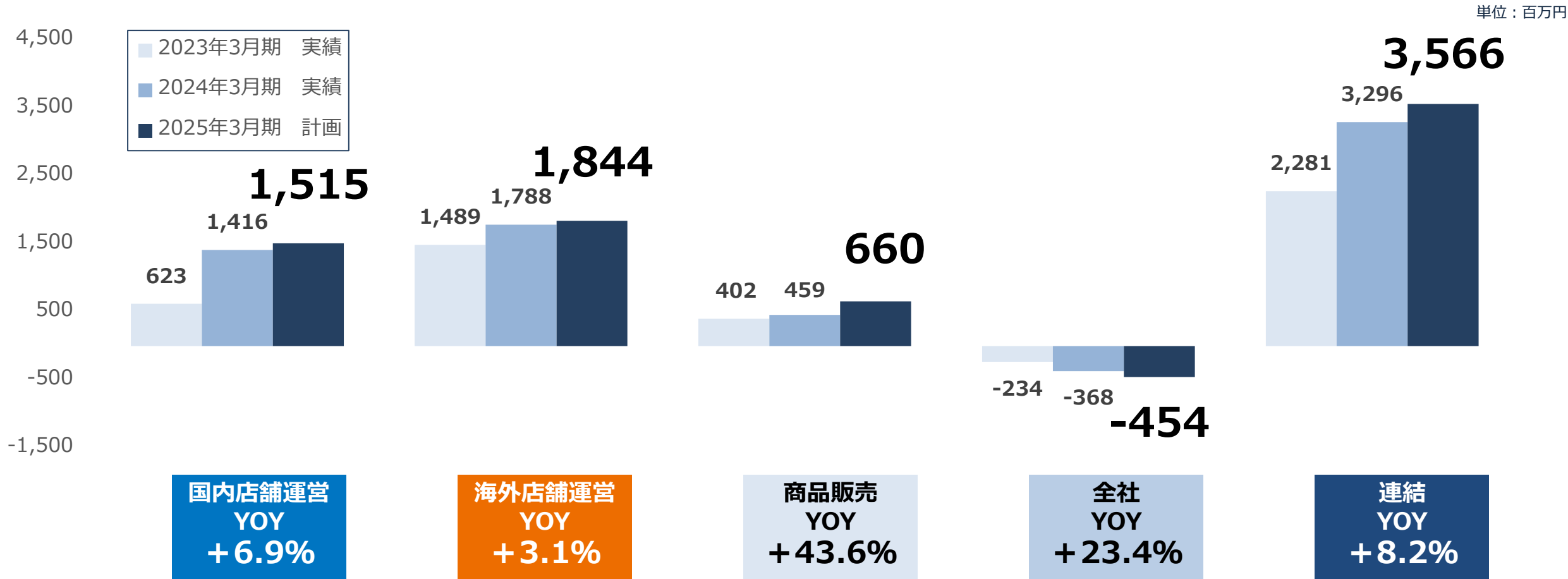
2025年3月期 業績予想（売上高）

国内は新規出店と定借満了等での閉店店舗が混在しており、既存店の穏やかな成長（既存店前年対比105%前提）を想定。
海外は地政学的な不安定な状況、各国経済の冷え込みなどを加味し、
保守的な既存店推移（既存店前年対比現地通貨ベースで102%前提）と慎重な出店計画を反映



2025年3月期 業績予想（営業利益）

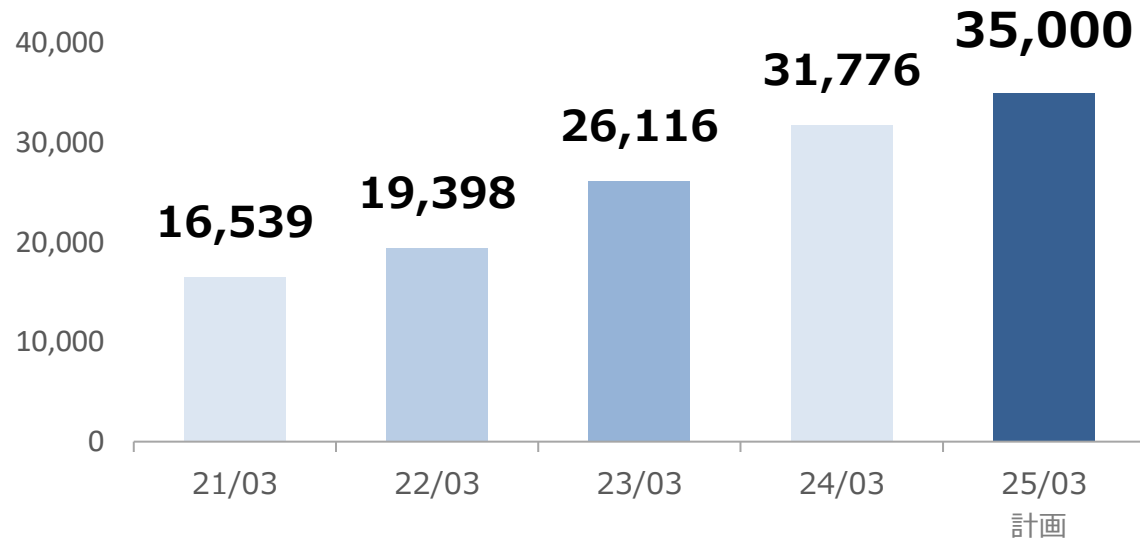
国内海外共に、地政学リスクや為替の変動による、原材料やエネルギー価格変動等、コスト増リスクは
予見されるものの、引き続きコストコントロールおよび、各種DX施策の推進等により増益の見込み



USドルは10円・20円のレンジで推移、その他通貨はUSドルの変動率を各通貨に連動させ試算
(期中、全通貨が同レートで推移した場合)

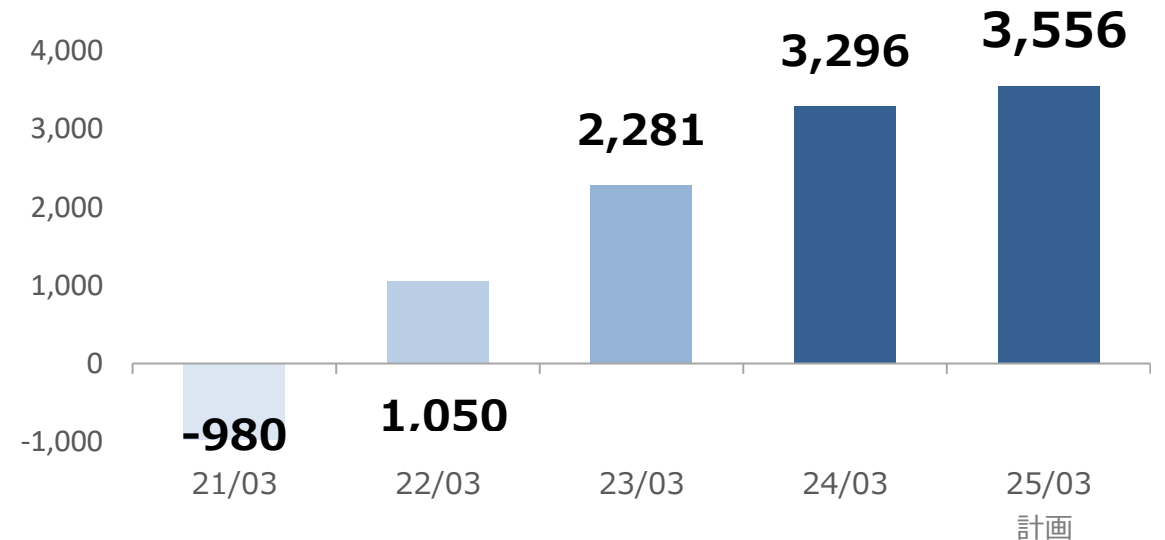
		← 20円	△ 10円	0円 (今期業績予想)	+ 10円	→ + 20円
USドル		120.56	130.56	140.56	150.56	160.56
各通貨変動率 (%)		△14.2%	△7.1%	—	+7.1%	+14.2%
海外 店舗運営	売上高	13,875	15,025	16,176	17,326	18,477
	GAP	△2,302	△1,151		+1,150	+2,301
	営業利益	1,582	1,713	1,844	1,975	2,106
	GAP	△263	△132		+131	+262
連結	売上高	32,698	33,849	35,000	36,150	37,301
	GAP	△2,302	△1,151		+1,150	+2,301
	営業利益	3,303	3,434	3,566	3,697	3,828
	GAP	△263	△132		+131	+262

売上高

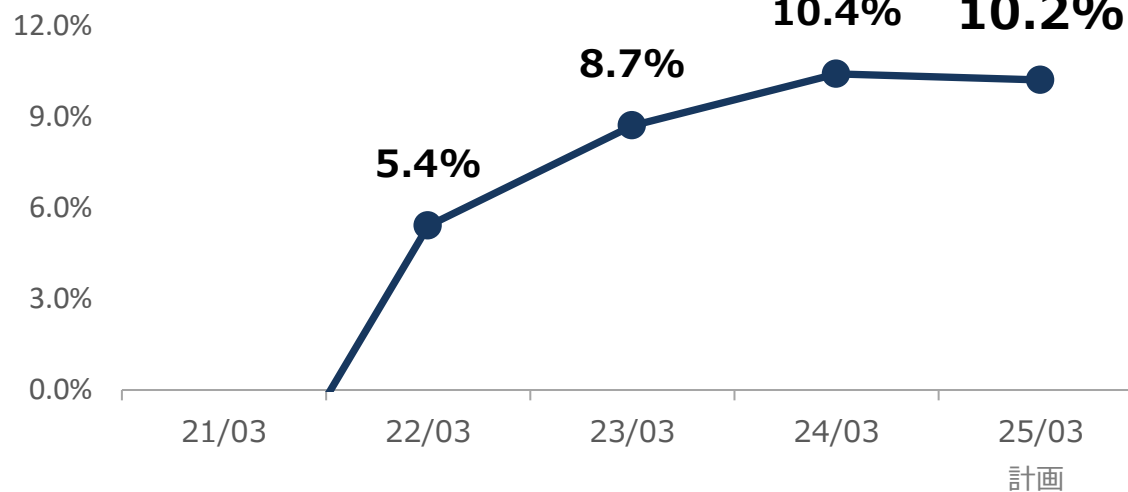


営業利益

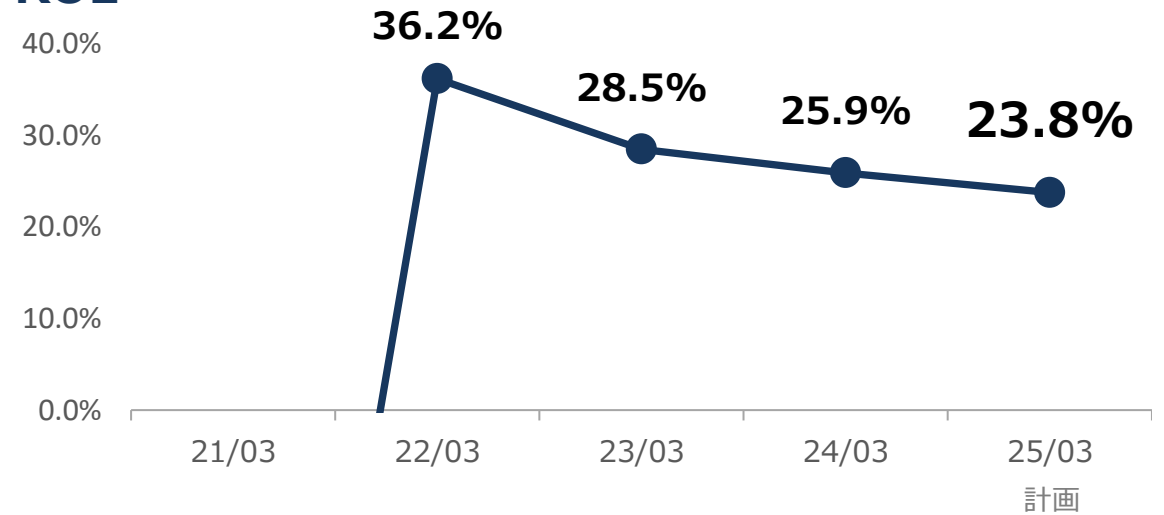
単位：百万円



営業利益率



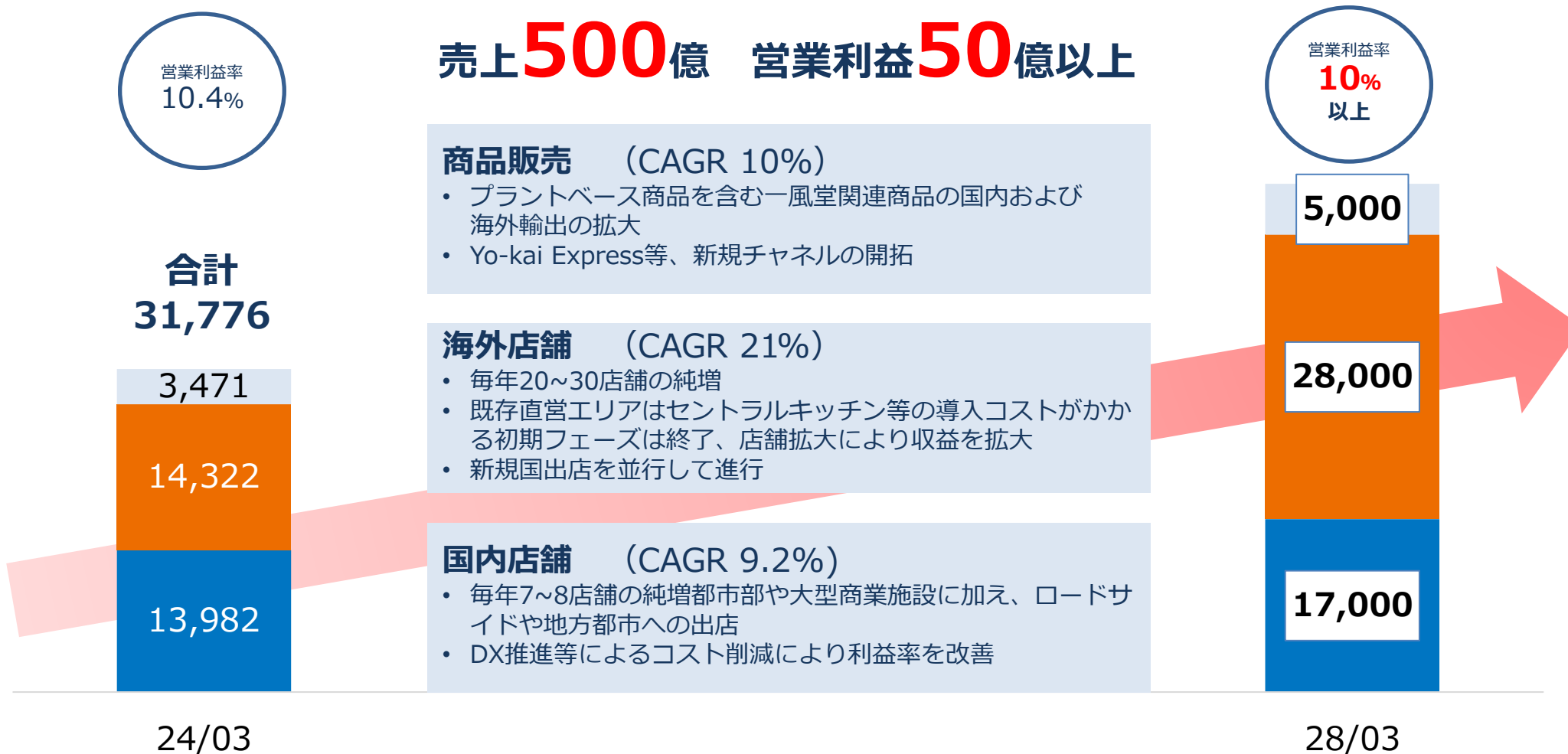
ROE



2028年3月期へのVision

3

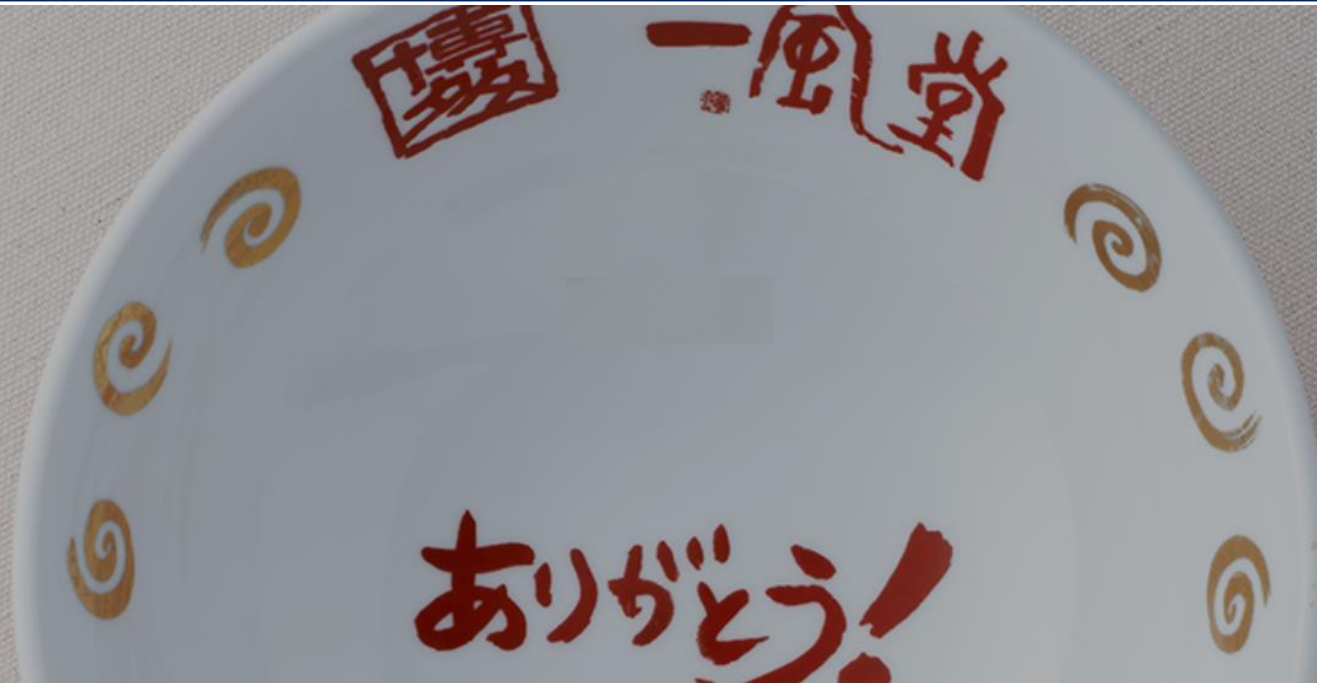
単位：百万円



既存店の強化 / グローバル人材の採用・育成 / 店舗、サポート部門のDX推進
/ グローバルSCMの構築 / 経営理念の浸透 / 安定的な財政基盤

付属資料

4



食を通して新しい価値を創造し

「笑顔」と「ありがとう」とともに

世界中に伝えていく。

変わらないために、変わり続ける。

株式会社 力の源ホールディングス

【証券コード:3561】

- 所在地 福岡市中央区大名一丁目13番14号
- 設立 1986年（昭和61年）10月30日
- 資本金 31億 4,839万円（発行済株式数：30,308,000株）
- 決算期 3月
- 従業員数 18名（連結602名） ※臨時従業員除く
- 役員構成

代表取締役会長 兼 Founder

河原 成美

Mr. Shigemi Kawahara

代表取締役社長 兼 CEO

山根 智之

Mr. Tomoyuki Yamane

専務取締役

中尾 徹

Mr. Toru Nakao

取締役（監査等委員）

齋藤 晃宏

Mr. Akihiro Saito

取締役（監査等委員／社外） 独立役員

辻 哲哉

Mr. Tetsuya Tsuji

取締役（監査等委員／社外） 独立役員

田鍋 晋二

Mr. Shinji Tanabe

（2024年6月末現在）



原点の一杯

極 白丸元味

なめらかなとんこつスープに、博多らしい歯切れのよい細麺。低温調理で仕上げた柔らかいロースチャーシューが、優しい味わいをまとめます。



革新の一杯

極 赤丸新味

醤油のコクに、ガーリックが効いた香油、特製の辛味噌。最後の一滴までスープの味わいと深みを楽しめます。とろりとした厚切りチャーシューが、満足いくボリュームです。



刺激の一杯

極 赤丸新味

平打ちの細麺をすすると、旨辛いスープと共に、口いっぱいにはスパイスの香りが広がって行きます。特製の肉味噌、水菜や白ネギで、食感もお楽しみください。

世界中に笑顔とありがとうを



1985.10.16

創業：福岡市中央区大名に「博多 一風堂」を1号店をオープン

1979.11

福岡市博多区に レストランバー「アフターザレイン」をオープン

1994.3

横浜市の「新横浜ラーメン博物館」に出店。関東初進出

1995.4

東京 第1号店「一風堂 恵比寿店」をオープン

1997.1

テレビ東京「TVチャンピオン」にてラーメン職人選手権優勝。3連覇

2008.3

アメリカ・NYに、海外1号店をオープン

2009.5

シンガポールに、アジア1号店をオープン

2014.10

イギリス ロンドンに初出店（欧州初進出）

2015.10

創業30周年 記念イベント実施

2016.2

フランス パリに初出店

2017.3

東京証券取引所マザーズに株式を上場

2018.3

東京証券取引所市場第一部に変更

2018.11

海外100店舗を達成

2019.10

Global Leadership Conference開催

2022.4

東京証券取引所
プライム市場に移行

本資料は、株式会社力の源ホールディングス（以下「当社」）の企業情報の提供のために作成されたものであり、日本における当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料は事前の通知なく変更されることがあります。本資料またはその内容については、当社の事前の書面による同意がない限り、いかなる目的においても第三者が利用することはできません。

本資料に記載される業界、市場動向、または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの経営成績、財務状態、その他結果は、経済情勢、外食産業の市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。したがって、将来情報に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来情報に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

